

浜松ホトニクス株式会社

決算説明会

-2024年9月期第2四半期-

証券コード 6965

2024年5月10日



FY2024 上期業績

- **売上高1,039億円（対前年同期比-76億円、対計画比-75億円）**
コロナ禍関連特需の減少、部材不足を背景とした過去2年間に渡る実需以上の受注により顧客過剰在庫の解消が進まず受注減が各業界にて顕在化
- **営業利益200億円（対前年同期比-114億円、対計画比-36億円） 営業利益率19.3%**
対前年同期比においての主な減益要因は、売上減少による利益の減少（58億円）
製品構成の変化など（30億円）、人件費増加（21億円）、減価償却費増加（11億円）

FY2024 通期見通し

- **売上高2,111億円（対前年比-103億円、対計画比-132億円）**
顧客過剰在庫の解消が当初想定よりも長期化、及び多岐の業界に渡っている状況が継続
回復はFY2025以降を見込む
- **営業利益375億円（対前年比-191億円、対計画比-109億円） 営業利益率17.8%**
設備投資及び経費の見直しを実施しているが、今後の成長のための製造関連設備投資は継続

1. 業績概要
 2. 業績予想
 3. TOPICS
-

- 1. 業績概要**
 2. 業績予想
 3. TOPICS
-

対前年比、計画比ともに減収、減益 売上減少の影響大きく、利益率も低下

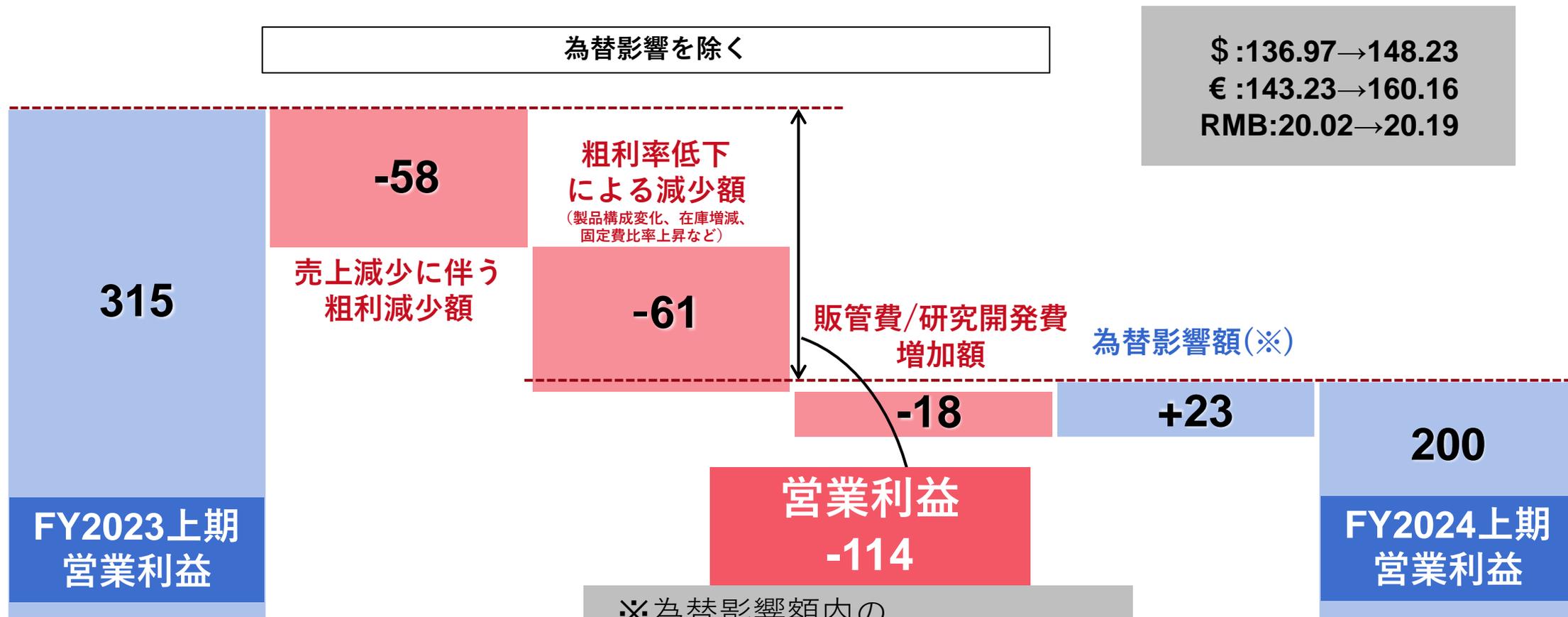
単位：億円

	FY2023 上期実績	FY2024 上期計画	FY2024 上期実績	前年同期比		計画比	
				増減額	%	増減額	%
売上高	1,116	1,115	1,039	-76	-6.8	-75	-6.7
売上総利益 (%)	621 (55.7%)	579 (51.9%)	534 (51.4%)	-87	-14.0	-44	-7.6
営業利益 (%)	315 (28.2%)	237 (21.3%)	200 (19.3%)	-114	-36.2	-36	-15.2
当期純利益	237	183	167	-69	-29.1	-15	-8.2

為替	ドル (円)	ユーロ (円)	元 (円)	為替感応度/年 (1円変動時)		営業利益における為替影響額
				1ドル	1ユーロ	
	136.97	135.00	148.23	3億円	1億円	23億円
	143.23	145.00	160.16	1億円	8億円	
	20.02	19.50	20.19	8億円		

利益変動要因（上期）FY2023-FY2024

単位：億円



※為替影響額内の	
粗利分	32億円
販管費分	-9億円
営業利益の為替影響額	23億円

業界別売上高

単位：億円

	FY2023 上期実績	FY2024 上期計画	FY2024 上期実績	前年比		計画比	
				増減	%	増減	%
医用・バイオ機器	409	386	337	-72	-17.6	-49	-12.7
産業用機器	385	378	349	-36	-9.4	-29	-7.7
分析機器	113	114	100	-13	-11.5	-14	-12.3
学術研究	61	85	90	29	47.5	5	5.9
計測機器	48	51	56	8	16.7	5	9.8
輸送機器	34	29	28	-6	-17.6	-1	-3.4

業界別概要（医用・バイオ機器）

単位：億円

	FY2023 上期実績	FY2024 上期計画	FY2024 上期実績
放射線検査装置	271	240	210
検体検査装置	122	122	105
医用・バイオ機器合計	409	386	337

前年比		計画比	
増減	%	増減	%
-61	-22.5	-30	-12.5
-17	-13.9	-17	-13.9
-72	-17.6	-49	-12.7

放射線検査装置

■ X線CT向け（対前年同期比-34億円）

中国国内における中国CTメーカーの台頭、中国製優遇政策で欧米の顧客が苦戦
欧米の金利高による設備投資抑制により需要減

■ デンタル向け（-21億円）

中国市場を中心とした価格競争激化、及び欧米の金利高による中小クリニックの設備投資抑制により需要減（在庫過多の未解消が継続）

検体検査装置

■ PCR向け（-8億円）、DNA検査装置向け（-6億円）

コロナ関連の特需が減少

■ 病理診断向け（+2億円）

医療機器での拡販により国内の医療機関向けで需要増

業界別概要（産業用機器）

単位：億円

	FY2023 上期実績	FY2024 上期計画	FY2024 上期実績	前年比		計画比	
				増減	%	増減	%
半導体製造装置	226	201	213	-13	-5.8	12	6.0
非破壊検査装置	104	123	93	-11	-10.6	-30	-24.4
FA機器	40	40	31	-9	-22.5	-9	-22.5
産業用機器合計	385	378	349	-36	-9.4	-29	-7.7

半導体製造装置

- **ウエハ検査向け（対前年同期比-3億円）**
市場環境は回復傾向にあるが、在庫調整により需要減、FY2025以降徐々に解消見込み
- **ステルスダイシング（+2億円）**
AI市場活況によりHBM（High Bandwidth Memory）向けで需要増

非破壊検査装置

- **電池検査装置向け（-5億円）、電子部品検査装置向け（-1億円）**
中国などでのEV補助金の打ち切りでEV市場の減速感大きく、LiBメーカー淘汰や設備投資抑制により需要減、但し本来の主力市場である基板検査向けは堅調

FA機器

- **エンコーダ向け（-4億円）**
中国経済減速により工作機械などの需要減と低価格帯製品の中国製への移行により、国内顧客の在庫過多が未解消（通常在庫の2～3倍）、回復は遅れる見通し

業界別概要（分析機器、学術研究）

単位：億円

	FY2023 上期実績	FY2024 上期計画	FY2024 上期実績	前年比		計画比	
				増減	%	増減	%
分析機器	113	114	100	-13	-11.5	-14	-12.3

分析機器

- 液体クロマトグラフ装置向け（対前年同期比-8億円）
創薬市場の停滞による設備投資抑制により需要減

	FY2023 上期実績	FY2024 上期計画	FY2024 上期実績	前年比		計画比	
				増減	%	増減	%
学術研究	61	85	90	29	47.5	5	5.9

学術研究

- 高エネルギー物理学実験向け（+17億円）
ハイパーカミオカンデ向け、CERN向けに出荷増加

科学計測用カメラの需要拡大

業界別概要（計測機器、輸送機器）

単位：億円

	FY2023 上期実績	FY2024 上期計画	FY2024 上期実績	前年比		計画比	
				増減	%	増減	%
計測機器	48	51	56	8	16.7	5	9.8

計測機器

- 地質探査向（対前年同期比+8億円）
地政学的なリスクはあるものの、石油探査需要は原油高も追い風となり堅調

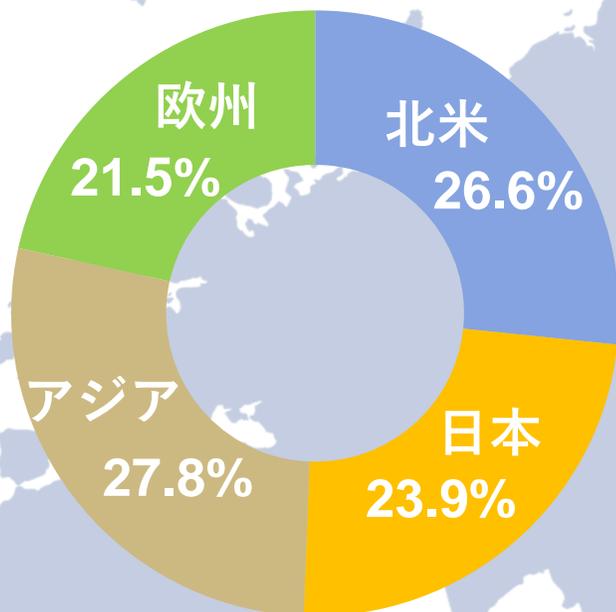
	FY2023 上期実績	FY2024 上期計画	FY2024 上期実績	前年比		計画比	
				増減	%	増減	%
輸送機器	34	29	28	-6	-17.6	-1	-3.4

輸送機器

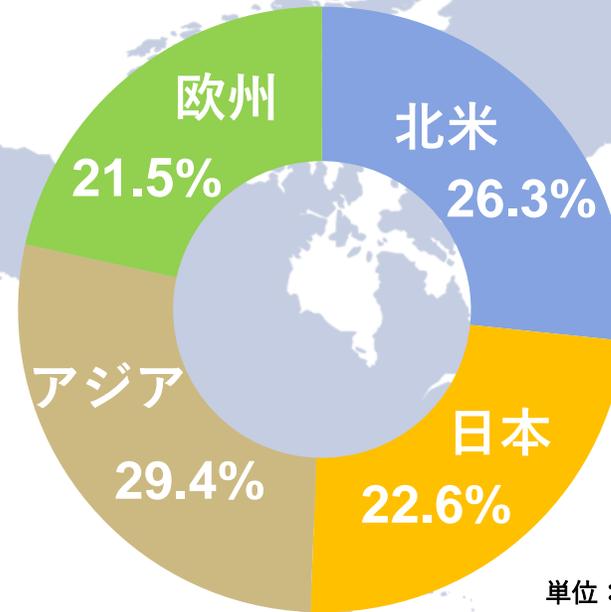
- LiDAR向け（-6億円）
中国経済減速、自動運転市場の立上遅れにより需要減

地域別売上高

FY2023 上期



FY2024 上期



単位：億円

	欧州	アジア (内中国)	日本	北米
FY2023 上期	240	310 (208)	267	297
FY2024 上期	223	306 (215)	235	273
増減	-17	-4 (7)	-32	-24
増減率(%)	-7.1	-1.3 (3.4)	-12.0	-8.1

※その他地域は除く

近年成長を牽引してきた中国の伸びは鈍化

1. 業績概要
 2. 業績予想
 3. TOPICS
-

顧客過剰在庫の解消が当初想定より長期化、及び多岐業界に渡っており通期業績予想を下方修正、回復はFY2025以降になる見込み

単位：億円

	FY2023 実績	FY2024 当初計画	FY2024 業績予想	前年同期比		計画比	
				増減額	%	増減額	%
売上高	2,214	2,243	2,111	-103	-4.7	-132	-5.9
売上総利益 (%)	1,200 (54.2%)	1,169 (52.1%)	1,071 (50.7%)	-129	-10.8	-98	-8.4
営業利益 (%)	566 (25.6%)	484 (21.6%)	375 (17.8%)	-191	-33.7	-109	-22.5
当期純利益	428	367	294	-134	-31.3	-73	-19.9

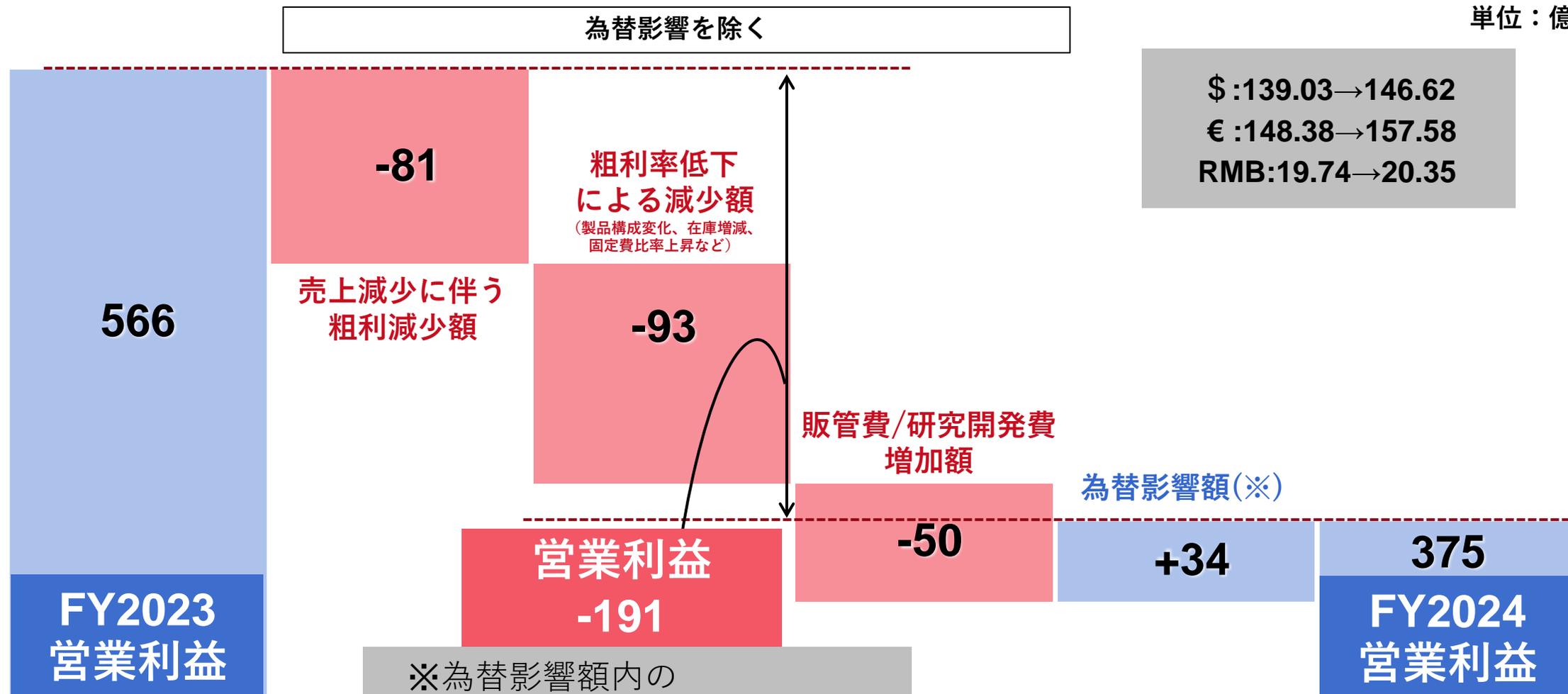
為替	ドル (円)	139.03	135.00	146.62
	ユーロ (円)	148.38	145.00	157.58
	元 (円)	19.74	19.50	20.35

為替感応度/年 (1円変動時)		営業利益における為替影響額
1ドル	3億円	
1ユーロ	1億円	
1人民元	8億円	

34億円

利益変動要因（通期） FY2023-FY2024

単位：億円



\$:139.03→146.62
€ :148.38→157.58
RMB:19.74→20.35

※為替影響額内の
粗利分 46億円
販管費分 -12億円
営業利益の為替影響額 34億円

多くの業界において顧客の先行手配の反動による受注減が継続
主要な業界において当社のポジションに大きな変化はなく、FY2025に在庫過多
 解消と市場回復により再び成長路線に戻る見込み

単位：億円

	FY2023 実績	FY2024 当初計画	FY2024 業績予想	前年比		計画比	
				増減	%	増減	%
医用・バイオ機器	781	773	675	-106	-13.6	-98	-12.7
産業用機器	744	779	675	-69	-9.3	-104	-13.4
分析機器	225	235	213	-12	-5.3	-22	-9.4
学術研究	145	162	168	23	15.9	6	3.7
計測機器	107	100	105	-2	-1.9	5	5.0
輸送機器	60	59	57	-3	-5.0	-2	-3.4

X線CT向けの状況例（大手顧客の代表的な動向）

X線CT向け

2021年～

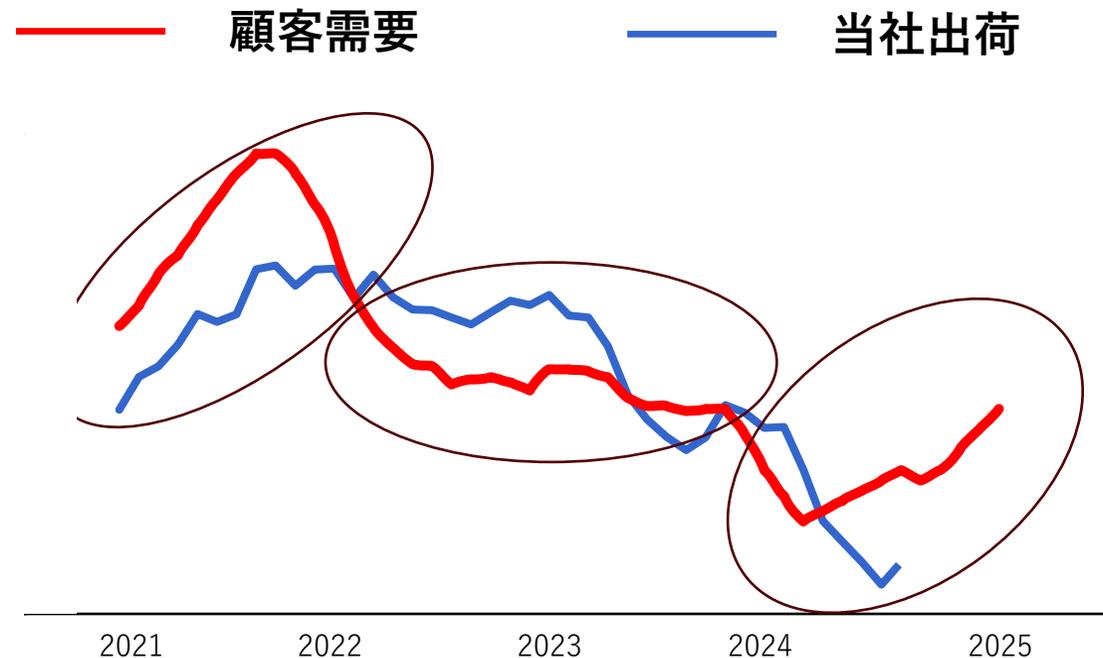
コロナ禍でのX線CTの需要急増に対し当初は出荷増が追い付かず増産を継続

2022年～2023年

一転、コロナ禍以降の顧客需要の減退による在庫過多が顕在化、生産調整を継続

2024年以降

上期で底を打ち、顧客需要も上昇のフォーキャスト、下期からは通常トレンドでの回復を見込む



デンタル向けの状況例（大手顧客の代表的な動向）

デンタル向け

2021年～

電子部品などの部材不足により生産が需要を下回る

2022年～2023年

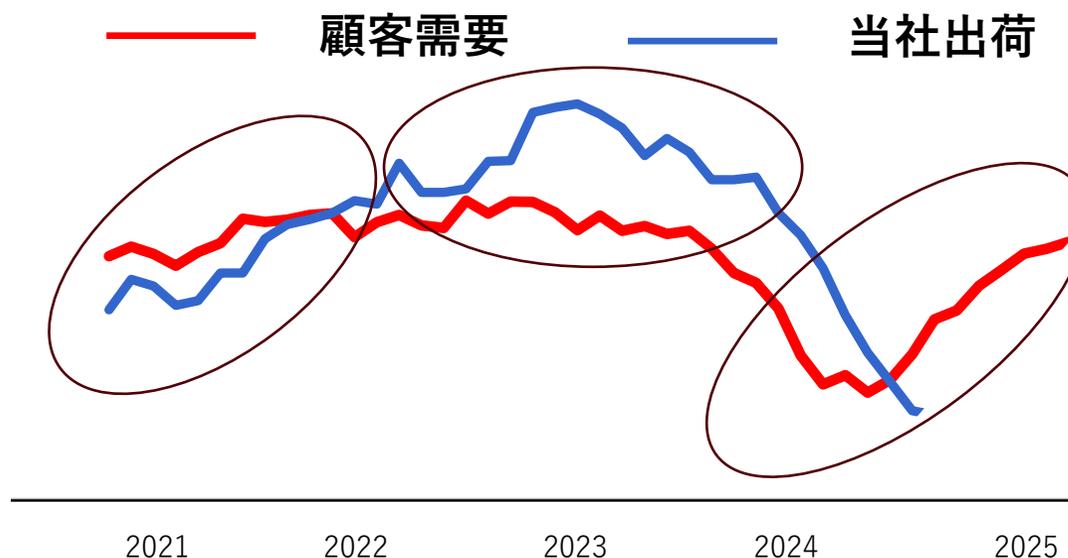
顧客要求分への出荷対応で増産継続

数量契約から増産を継続したが、欧米の金利高、中国国内の競争激化での需要減による客先の在庫過多が顕在化

2024年以降

需要は底打ち感があるが、在庫過多の解消には時間がかかると予想

今後回復は見込むが、メーカー側での価格競争も激化しており懸念もあり



半導体製造装置向けの状況例（大手顧客の代表的な動向）

半導体製造装置向け

2021年～

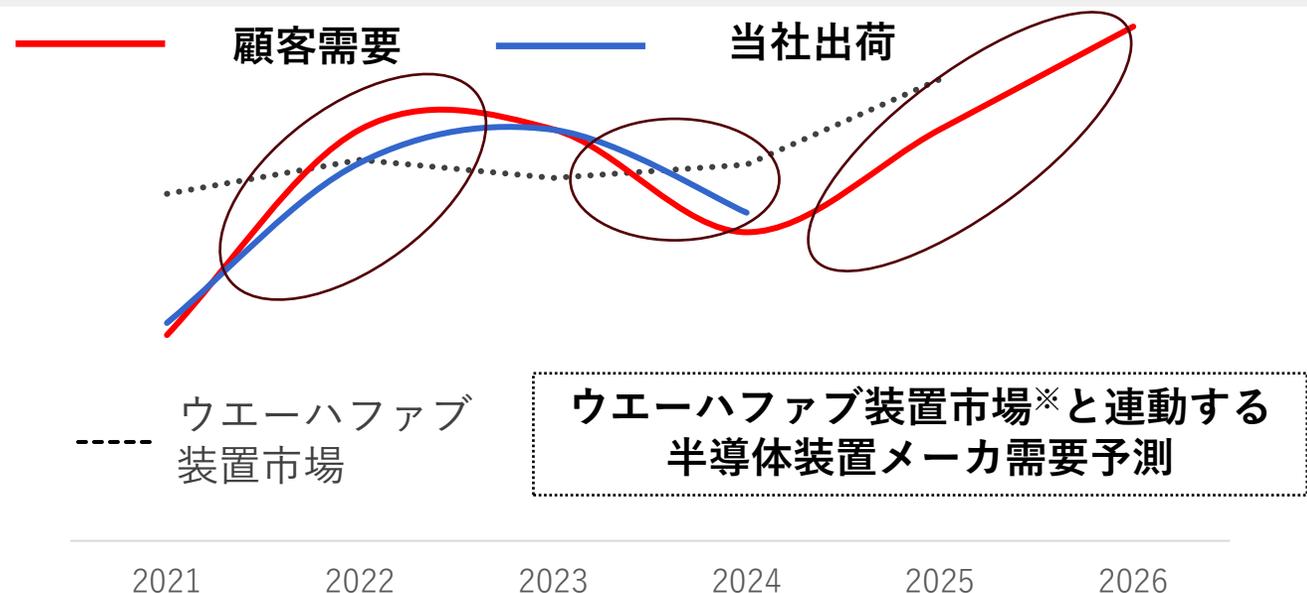
生産が顧客需要を下回るため増産を継続

2023年～

顧客要求分への出荷対応で増産継続、2022年をピークにメモリ不況の煽りで急激な需要減

2024年以降

明確な需要は底打ち、2024年後半から回復し2025年には過去最高を上回る需要予測。半年～1年の遅れで増産へ



主要な半導体製造・検査装置用の高シェア製品を提供

マスクブランクス
マスク
異物・欠陥検査

検査用
EUV光源



光学式微小寸法計測

レーザ励起
プラズマ光源



エッチングプロセス
終点判定プラズマ発光分析

分光計測用
CCD



ウエーハ異物・欠陥検査

キセノンランプ



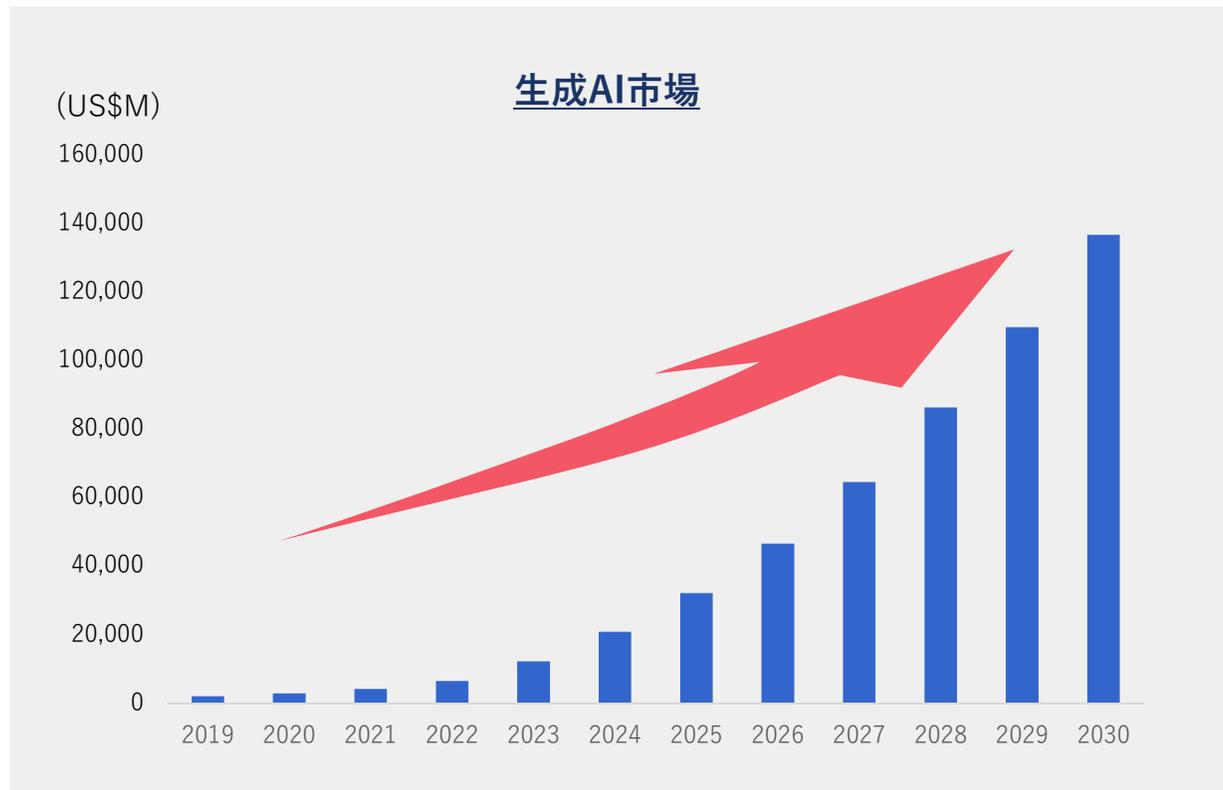
TDI-CCD



光電子増倍管

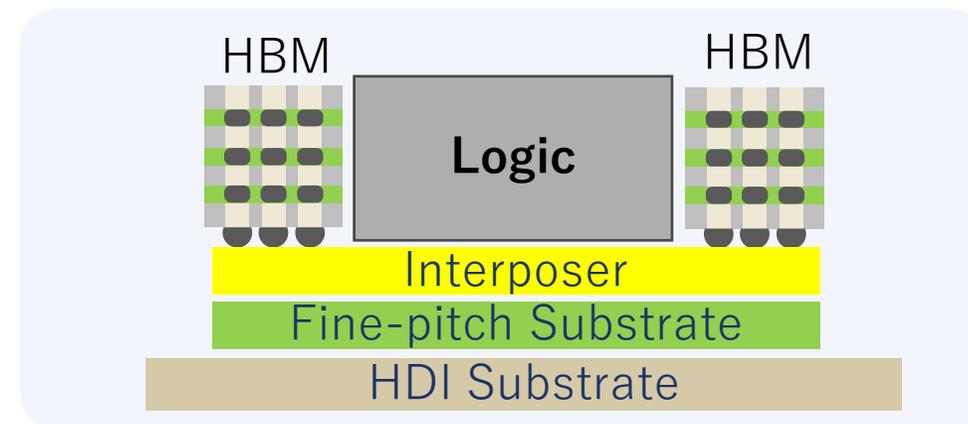


近年注目されている生成AI市場は10年間に年平均成長率約50%のペースで拡大



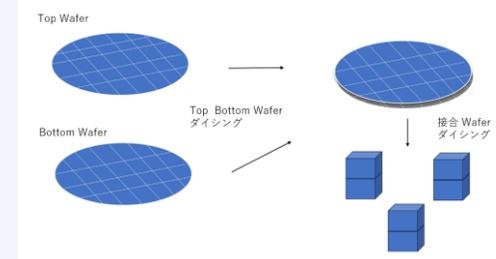
Source : GENERATIVE AI MARKET, Forecast to 2030, MarketsandMarkets

生成AIチップにはGPUとHBM（広帯域、大容量、高速の特殊メモリ）が搭載

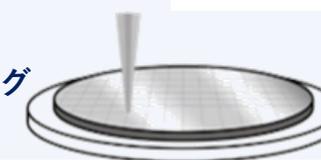


デバイスの性能向上のためにウェハを貼り合わせる技術を使用

HBM・DRAMチップの個片化

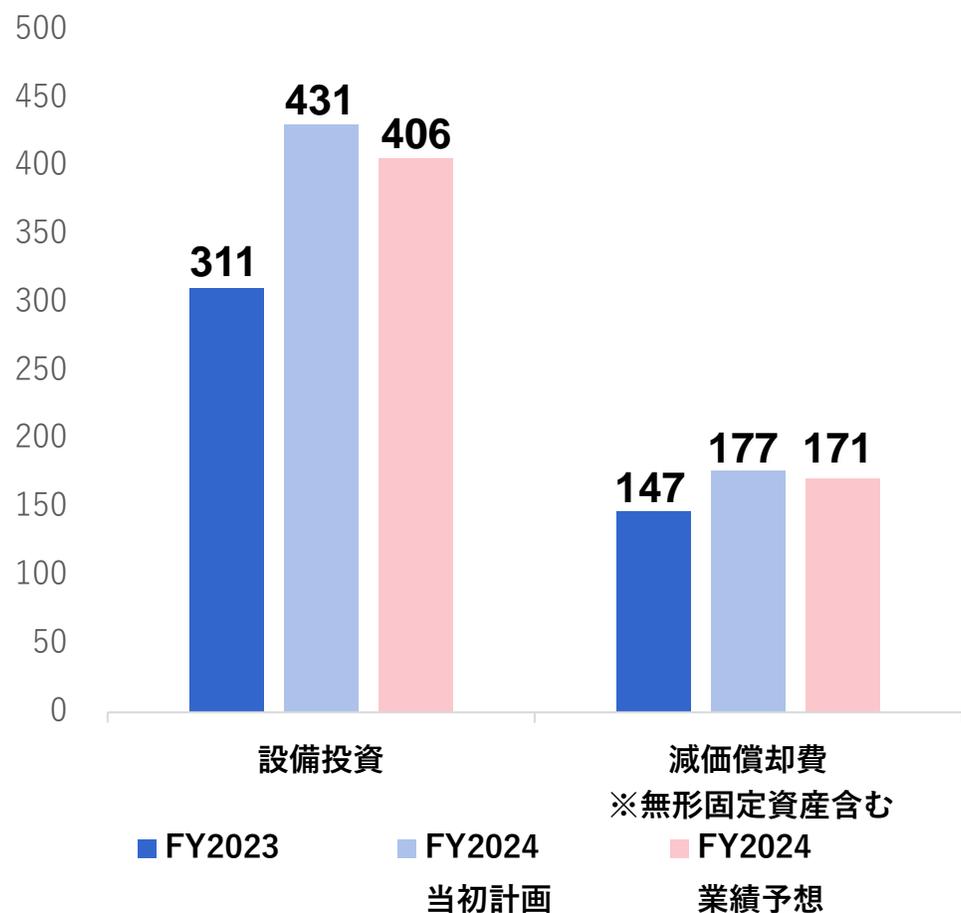


ステルスダイシング

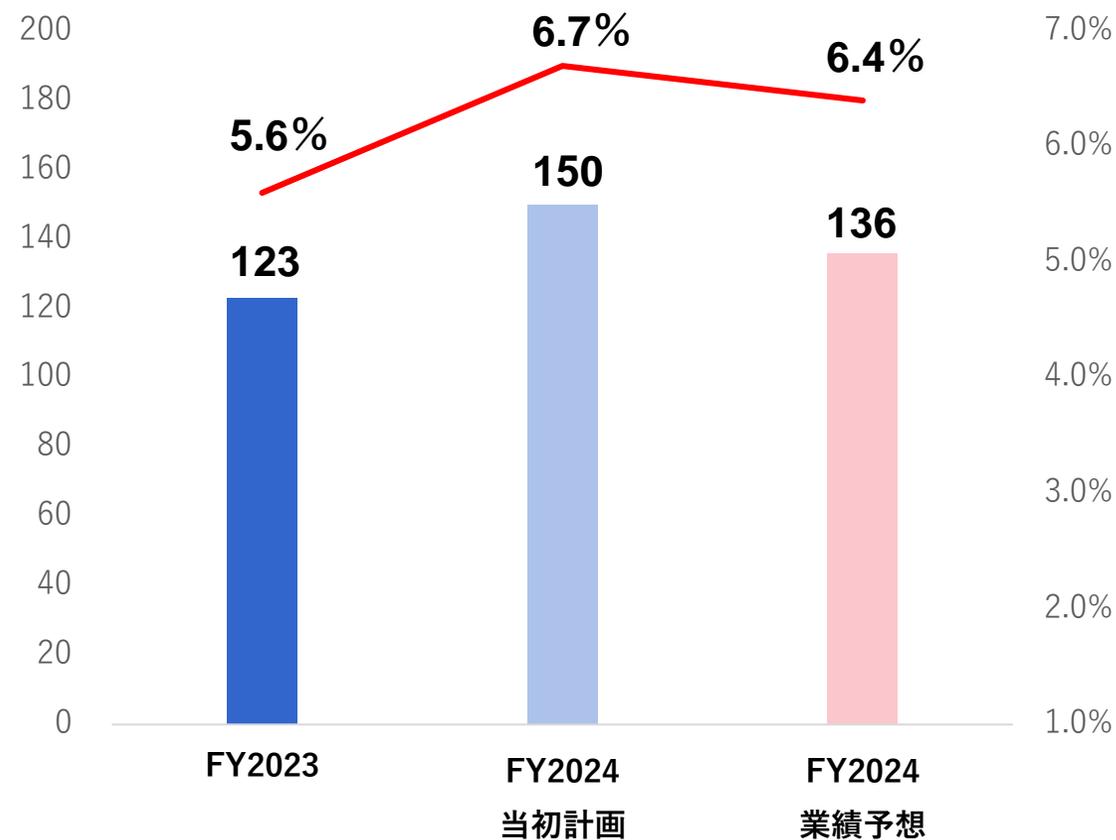


単位：億円

設備投資・減価償却費



研究開発費と 売上高研究開発比率



株式分割

■ 分割の目的

当社株価水準を踏まえ、株式分割により投資単位あたりの金額を引き下げ、投資しやすい環境を整備することで、流動性の向上及び投資家層の拡大を図る

■ 株式分割の内容

当社普通株式1株につき、2株に分割（2024年9月30日を基準日とし、10月1日に効力発生）

当期配当金

■ 当期配当金の維持

年間配当金は期初計画通り76円で維持方針

自社株買い

■ 適切な時期に実施検討中

NKT Photonics 買収完了後、全体の資金状況、デット調達等を踏まえ適切な時期の実施を検討中

東証要請への対応

- 3月28日 資本コストと株価を意識した経営の実現に向けた対応の開示

次期中期計画に向けての検討事項

- 中期的な企業価値の向上に向けて成長戦略ストーリーを発表、説明強化（11月）

中計と合わせた財務戦略の検討

- 資本効率を意識した経営資源の適切な配分
 - ✓ 目標とする経営指標(ROE・営業利益率等)と目標値の決定
 - ✓ 中期キャピタルアロケーション方針のバージョンアップ
 - ✓ 現預金等の成長投資(M&A・設備投資・R&D等)への有効活用
 - ✓ ファイナンス利用(デット増加等)によるレバレッジ効果検討
- バランスシートの点検
 - ✓ 現状分析と評価 ※最低限の自社ファブ投資の堅持
- 資本コストを意識した経営
 - ✓ 資本コストを上回る持続的収益性維持と差の拡大、資本コスト低減に向けての対策検討

1. 業績概要
 2. 業績予想
 3. TOPICS
-

連携によるシナジー創出

高付加価値化への
取り組み

新技術・成長産業の
創出

高付加価値化への 取り組み



高付加価値カスタムモジュール事業の推進



- ✓ 社内の**要素技術**を連携
- ✓ 顧客要望に沿った**高付加価値カスタム製品**
- ✓ **事業を横断した新たなビジネス**を構築
- ✓ 顧客**最終製品に直接実装**可能



電子管事業

- ✓ FOP(ファイバオプティクプレート)
- ✓ シンチレータ
- ✓ 光源・検出器



画像計測機器事業

- ✓ 画像処理技術
- ✓ 光学設計技術
- ✓ 回路・ソフト設計技術
- ✓ 製品化技術



光半導体事業

- ✓ イメージセンサ
- ✓ 光源・検出器



X線ビジネス戦略室新規創設（5月1日）

- ✓ 事業を横断した**新組織**として発足（各事業から人選）
- ✓ 社内の**X線要素技術を連携**させ**新規高付加価値製品の開発提案**
- ✓ **事業を横断**したマーケティング・販売戦略・新製品提案・技術検証

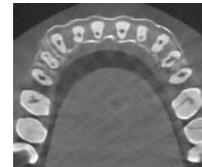
電子管事業

- ✓ マイクロフォーカスX線源
- ✓ FOP（ファイバオプティクプレート）
- ✓ シンチレータ



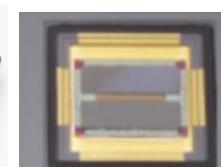
画像計測機器事業

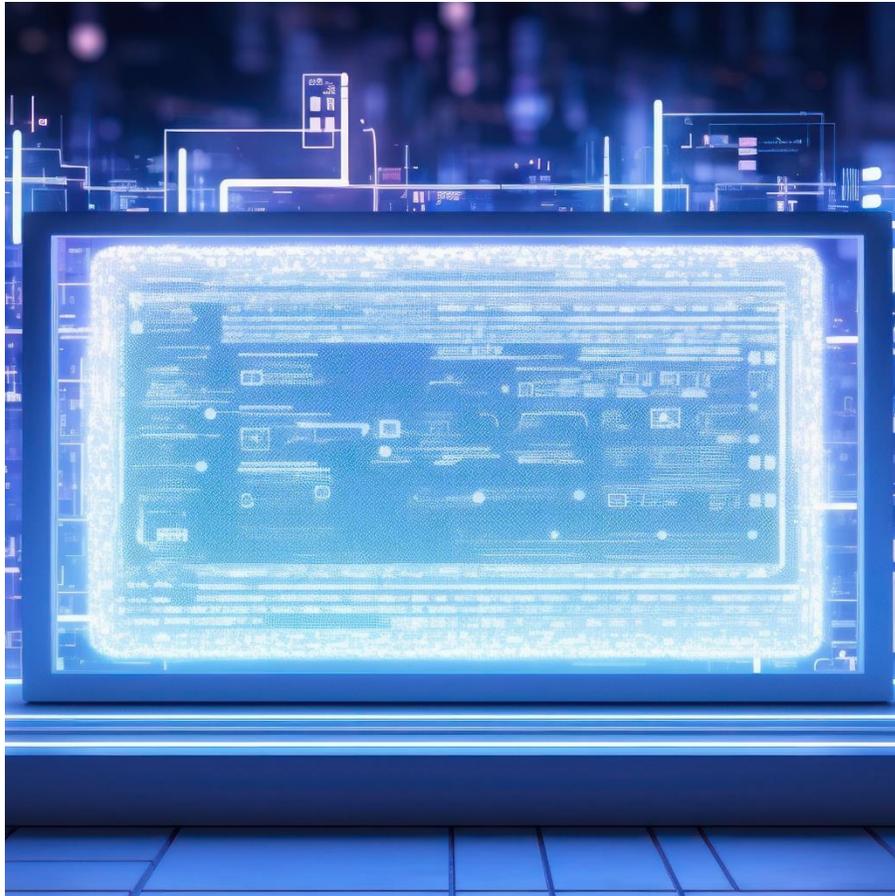
- ✓ X線ラインセンサカメラ
- ✓ 2次元X線カメラ
- ✓ AIデノイズ除去アルゴリズム



光半導体事業

- ✓ X線フラットパネル
- ✓ TDI-CCD CMOS
- ✓ X線CT用フォトダイオード





新技術・成長産業の 創出

事業構成（コンポーネント）

光電子増倍管

シリコン光半導体

化合物光半導体

受光素子

発光素子

真空管光源

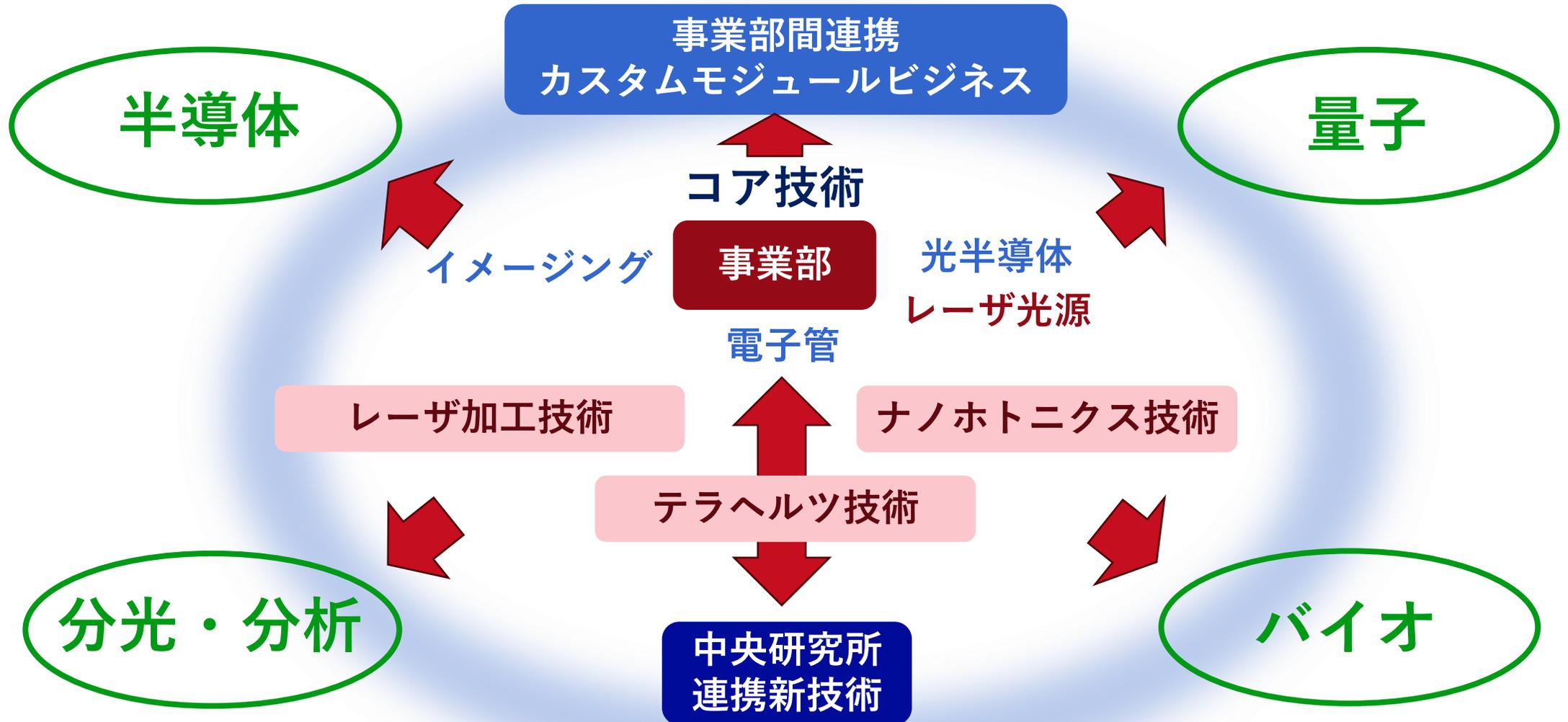
LED光源

レーザ光源

電子管事業
800億円規模

光半導体事業
1,000億円規模

レーザ事業
50億円規模



- ✓ 生成AI向け 3次元先端半導体チップ製造へ貢献
- ✓ 新たな計測・故障解析手法提供



半導体

Source : Semiconductor Manufacturing Equipment Market – Forecast to 2028,MarketsandMarkets

- ✓ キーコンポーネントを供給
- ✓ 実用化を加速

量子



Source : Quantum Photonics Market - Forecast to 2030,MarketsandMarkets



分光・分析

- ✓ 革新的な新デバイス提供
- ✓ 新たな計測手法の提供

Source : Life Science Instrumentation Market - Forecast to 2028,MarketsandMarkets

バイオ



- ✓ モノ売りからコト売りへ
- ✓ クラウドベースで解析技術提供

Source : Cell Based Assays Market - Forecast to 2028,MarketsandMarkets

量子コンピュータ

< 中性原子主要技術 >

空間光位相変調器 LCOS-SLM
Qubit検出カメラ ORCA-Quest



- ✓ キーコンポーネントを供給
- ✓ 実用化を加速

量子



Source : Quantum Photonics Market - Forecast to 2030, MarketsandMarkets

量子センシング

< 超高感度磁気計測技術 >

光ポンピング磁気センサ OPM
脳磁計測 MEG



量子ネットワーク

< 単一光子検出技術 >

超伝導ナノストリップ単一光子検出器 SSPD
単一光子検出アバランシェダイオード SPAD



新技術・成長事業の創出 < 半導体 >

- ✓ 生成AI向け3次元先端半導体チップ製造へ貢献
- ✓ 新たな計測・故障解析手法提供



半導体

Source : Semiconductor Manufacturing Equipment Market - Forecast to 2028, MarketsandMarkets

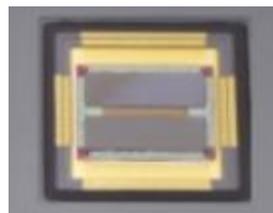
半導体製造検査

高速高感度化 TDI-CCD CMOS技術

Energetiq社

EUV光源・レーザ励起プラズマ光源

ENERGETIQ
HAMAMATSU PHOTONICS COMPANY

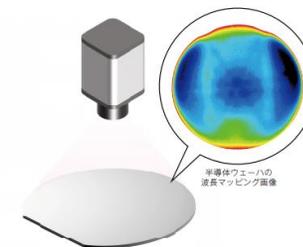


半導体製造技術

ステルスダイシング SD

面内膜厚計

超高ダイナミックレンジ分光器 OPAL-Luxe

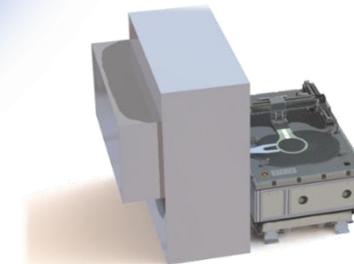


半導体故障解析

抜き取りから自動化へ iPHEMOS-MPX
新発熱解析手法の提供



iPHEMOS MPX



- ✓ 革新的な新デバイス提供
- ✓ 新たな計測手法の提供

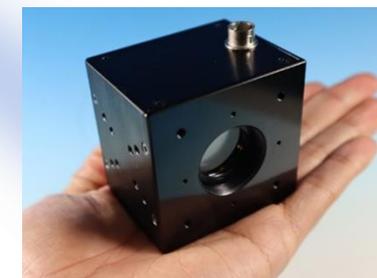


分光・分析

Source : Life Science Instrumentation Market - Forecast to 2028, MarketsandMarkets

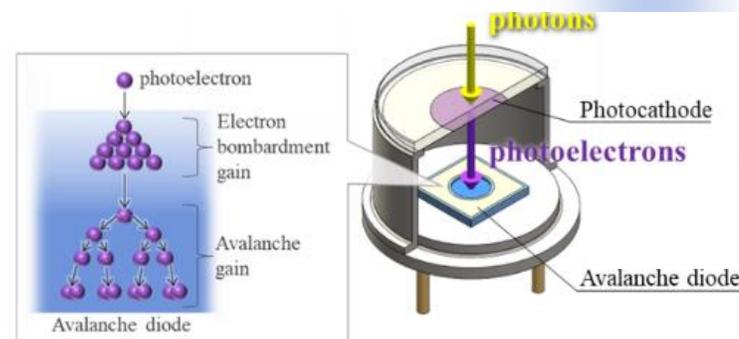
THz (テラヘルツ) 分光分析

THz PMT · THz II
常温動作THz光源



革新的な新デバイス

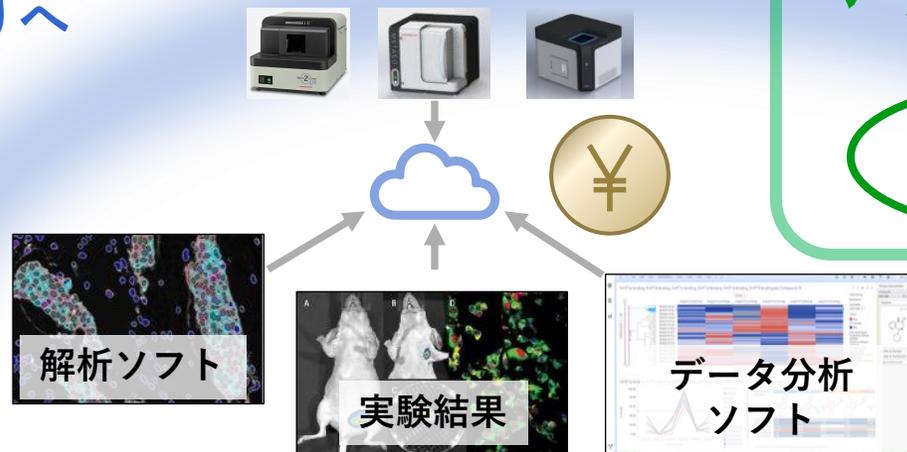
光半導体・光電面技術の融合
高SN・高Dレンジ・低暗電流・低増倍揺らぎ



新型センサ開発

クラウドベースのサービス提供

モノ売りからコト売りへ
継続的な売上確保
高い利益率を確保



- ✓ モノ売りからコト売りへ
- ✓ クラウドベースで解析技術提供

バイオ



Source : Cell Based Assays Market - Forecast to 2028, MarketsandMarkets

化合物探索から臨床試験まで 創薬市場の全領域をカバー

スクリーニングによる創薬研究

薬効・毒性評価

臨床試験



FDSS Series



CYTOQUBE



新製品開発中



NanoZoomer

(開示事項の経過) 連結子会社によるデンマークNKT Photonics A/Sの株式の取得 (子会社化)

開示事項の経過についてのお知らせ

(開示事項の経過) 連結子会社によるデンマークNKT Photonics A/Sの株式の取得 (子会社化)

2022年6月9日開催の取締役会決議に基づき、連結子会社であるホトニクス・マネージメント・ヨーロッパ・エス・アール・エルが、NKT Photonics A/Sの全株式を取得し子会社化 (当社の孫会社化) するための株式譲渡契約を2022年6月24日付けで締結

関係各国の法的規制に係る手続きを進め、ドイツ、イギリス、アメリカの各関係当局より本件株式取得に係る承認を得たが、デンマークについては、産業・ビジネス・金融大臣が、財務大臣、外務大臣、法務大臣、国防大臣と協議のうえ、The Danish Investment Screening Actに基づき、本件株式取得に係る申請を却下することを決定

2023年5月2日、当該決定の通知を同国商務庁より受領

2023年7月20日に再度、NKT Photonics A/Sをホトニクス・マネージメント・ヨーロッパ・エス・アール・エルの子会社 (当社の孫会社) とするための株式取得に係る申請書を同国商務庁宛に提出
同申請書は2023年7月26日に同国商務庁受理

産業・ビジネス・金融大臣が、財務大臣、外務大臣、法務大臣、国防大臣と協議した結果、産業・ビジネス・金融大臣は、同申請書にかかる申請を承認することを決定

2024年5月6日に、同国商務庁より本件株式取得を承認する旨の通知を受領

(開示事項の経過) 連結子会社によるデンマークNKT Photonics A/Sの株式の取得(子会社化)

【企業結合日】

当社第3四半期中(予定)

【被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳】

取得の対価 現金 約239百万ユーロ(約39,030百万円)(予定)

取得原価 約239百万ユーロ(約39,030百万円)(予定)

為替レートは、1ユーロ=163.24円(株式会社三菱UFJ銀行が公表する2024年3月29日における最終の対顧客電信為替相場の仲値)を前提

取得原価は、株式取得の対価に加え、ネット有利子負債の額を含む株式譲渡契約に定める価格調整を実施した金額となる予定

【主要な取得関連費用の内容及び金額】

アドバイザー費用等(概算額) 1,000百万円

【発生するのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間】

未確定

【企業結合日に受け入れる資産及び引き受ける負債の額並びにその主な内訳】

未確定

www.hamamatsu.com